



2015「JCF 公認 *Coupe du Japon* MTB」テクニカルガイド
20150409(全日本除き共通)

1. 大会名称
Coupe du Japon MTB (クップ ドュ ジャポン MTB)
- 1.2. 大会クラス
 - ① UCI 公認国内開催大会 (CJ-U)
 - ② 全国レベル公認大会 (CJ-1)
 - ③ 地区レベル公認大会 (CJ-2)
2. 開催競技種目
次の種目から行われる
 - ① エンデュランス系
 - ・クロスカントリー・オリンピック (XCO) ・クロスカントリー・エリミネイター (XCE)
 - ・クロスカントリー・タイムトライアル (XCT) ・クロスカントリー・マラソン (XCM)
 - ② グラビティ系
 - ・ダウンヒル・インディヴィデュアル (DHI) ・フォア・クロス (4X)
 - ・エンデューロ (END) (注;いくつかの中継ステージと計時ステージを含む競技)
3. 競技者クラス
次の公認クラスを男女とも設定する。
A:UCI カテゴリ
 - ① エリート;エンデュランス系 19 歳以上 (含 U23; 19~22 歳)、グラビティ系 17 歳以上 (含ジュニア;17~18 歳)。
 - ② ジュニア;17 歳および 18 歳 (エンデュランス系のみ)
 - ③ マスターズ;30 歳以上の競技者でこのクラスを選択した登録者。B:JCF カテゴリ
 - ④ ユース;14~16 歳。主催者により 13 歳以下のクラスを実施することもある。
 - ⑤ チャレンジ (中級者クラス) A および B; 競技力が中級の競技者。
 - 主催者によりこれ以外のクラスによる競技が行われることは妨げない。
4. 競技規則
大会は UCI (国際自転車競技連合) 競技規則および JCF (公益財団法人日本自転車競技連盟) 競技規則および大会特別規則による。
5. 参加資格
 - 5.1. ライセンス
公認クラスへの参加には、当該年度有効な JCF ライセンス、または UCI 加盟国発行の有効なライセンスが必要。ただしチャレンジクラスおよび、特別な年少者クラスへの参加については各大会時の臨時登録により参加できる。
臨時登録費については各大会ごと徴収され JCF に送付される。
 - 5.2. チーム登録
「JCF 公認 Coupe du Japon MTB」への出場には、チーム登録が必要である。
ただしチャレンジクラスおよび、特別な年少者クラスへの参加については除く。
6. チーム
 - 6.1. チームの構成
マウンテンバイク・チームは下記から構成される団体である:
最少 1 名から最多 10 名の有効な JCF/UCI ライセンス (年間) を所持する競技者で、各クラスに該当する者、および、最少 1 名から最多 6 名の役員。(競技者と役員は兼務が可能)

- 6.1. チームの名称
チームの名称には、他のチームまたは団体と明確に区別できる固有の正式名称を持たなければならない。チーム名称は、暦年中に変更することは出来ない。
- 6.2. チーム登録者の条件
競技者全員が、年度有効な JCF 登録者（更新手続き中を含む）、または UCI 加盟国連盟の有効な登録者であること。チーム役員は、チームアテンダント登録者、日本体育協会公認のコーチ、指導員等の資格取得を推奨。
- 6.3. 登録
チーム毎年度、登録手続きを行わなければならない。
- 6.4. 保険
チーム登録競技者は、JCF 管理下（主催、主管、公認等）での傷害保険および賠償責任保険に加入する。（<http://www.sportsanzen.org/>）
- 6.5. UCI 登録マウンテンバイクチーム
UCI 登録チームが本制度登録の場合には、既登録と同じ構成、内容でなければならない。
- 6.6. チーム臨時登録
日本以外の UCI 加盟国連盟登録競技者が、大会参加を目的とする場合等に、臨時登録を行うことができる。種別は、ナショナルチーム、UCI 登録チーム、各国内登録チーム、個人である。
- 6.7. プレミアチーム
プレミアチーム 登録基準
2015 年度は、最低 1 名のエリート登録者、または登録時点で UCI 個人ランキングにおいてランキングがあるものを最低 1 名有すること。2016 年度基準は、追って設定され公示される。
- 6.8. チームジャージ
プレミアチームは、登録の提出時に、各チームのチーム・ジャージの彩色デザインを、スポンサーのロゴを含めて提出する。広告に関しては、UCI 規則 1.3.037, 1.3.048 による。
- 6.9. チームの権利
登録したプレミアチームは、チーム登録規程第 4 条にある権利を有し、次のような恩恵が受けられる：
- この条項は 2016 年度以降の確定した時点で発効する。2015 年度におけるこのようなサービスについては各主催者により有償で提供されることがある。
・公認大会における技術スペースの無料提供（18m²）
・スタッフの年間パス。最大 6 枚
・チームあたり 1 枚の駐車パス
・フィードゾーン・パス
・フィードゾーンにおける、セパレートされたスペース
・情報サービスと発表
・主要なイベント会場におけるサービス(全日本選手権大会を含む)。
7. ランキング
- 7.1. ナショナルランキング（個人）
公認クラスにおいて個人ランキングを作成する。
① 当該年度の全日本選手権大会と、その他の高得点大会を集計してランキングとする。
② ポイント集計対象大会数（全数）は、当該年度の全日本選手権大会及び CJ-U、CJ-1 の大会合計数に 65% を掛けて算出（小数点以下は切り上げ）する。同ポイントは直近大会優先。
③ ポイント表 別表
④ 臨時登録者はランキング対象外であり、年度途中の昇格はできない。
⑤ クラスの変更があった場合でもポイントの移行は出来ない。
- 7.2. チームランキング
① プレミアチームで、エンデュランス系とグラビティ系とに分けて集計する。
② チーム所属競技者（対象；エリートおよびジュニアクラス）の高ポイント獲得者 2 名の合計ポイントとする。
・同ポイントの場合、男子エリート上位、女子エリート上位、男子ジュニア、女子ジュニアの順（以降繰り返す）となる。
8. レジストレーション
参加競技者は事前に大会主催者が用意する受け付け手順により登録したのち、大会会場にてナンバーなどを受け取るレジストレーションを行なう。この際には、各自有効なライセンスを

提示する。

9. ナンバー
ナンバープレートは、C J-U, C J 1大会に最初に参加する際に、与えられた番号を年間使用する。(各男女エリートでは、2014ナショナルランキングの番号を配布する)
競技者は一旦配布されたナンバープレートを管理し、次回大会参加時に持参する必要がある。
紛失、破損の場合には、コミッセールに申請して新しいナンバーを受け取る。(実費)
- 番号は2014男女エリートランキングにより割り当て。
ボディナンバーは、大会ごとに配布される。
- 9.1. ゴールドナンバー
昨年度エリート上位にはゴールドナンバーを配布する。
10. トレーニング
- 10.1. 装備
トレーニング時にも、配布を受けたナンバープレートを装着しなければならない。
- 10.2. 最低時間
競日前日に最低3時間、当日に30分以上を設ける。ダウンヒルにおいてはトレーニング前に徒歩でのインスペクション、前日に次のカテゴリーでタイムドセッションを設ける。(エリート、マスターズ、ユース)
11. セレモニー
表彰については、原則クロスカントリーの場合には3位確定後、ダウンヒルは競技終了後ただちに表彰式を行う。他の競技が重なる場合には、次の競技スタート後に行うことがある。
12. リザルト
大会終了後、2時間以内にリザルトとリターンフォームを送付する。

UCI infostradasports@uci.ch (国際公認のみ)
JCF mtb.jcf@gmail.com および mtb@jcf.or.jp

送付リザルトは「csv フォーマット」推奨。(EXCELなどでの文字化け、数値変換を避けるため)
13. クロスカントリー・オリムピック (XC0)
- 13.1. クラス統合 (コンバインドルール)

事前に実施要項にて、次のようなクラス統合で実施できる。

エンデュランス系 (クロスカントリー等)
男子エリート+男子U23、 男子マスターズ、 男子ジュニア、 男子チャレンジA, Bおよび男子ユース
女子エリート+女子ジュニア、 女子マスターズ、 女子チャレンジ+女子ユース

グラビティ系 (ダウンヒル等)
男子エリート (ジュニアを含む)、 男子マスターズ、 男子ユース、 男子チャレンジA, B
女子エリート (ジュニアを含む)、 女子マスターズ、 女子ユース、 女子チャレンジ

各クラスとも大会事前受付時に5名に満たない場合には、上位クラスへ、上位が少ない場合には下位クラスと統合して競技を行う。統合されたクラス名は上位クラスのものとなる。
競技者は統合されたクラスにて獲得した順位により表彰、ポイントを受ける。ポイントについては自身のクラスでのランキングに反映される。
この規則にかかわらず、チーフコミッセールの権限において安全面、合理的理由により統合を行わない場合がある。
- 13.2. 競技時間帯
同一日、各時間帯での競技進行としての例。

08:00-08:45 オフィシャルトレーニング (クロスカントリー)

第1時間帯 (1h)
09:00- 男子チャレンジA, B、男子ユース

09:02- 女子チャレンジ、女子ユース

第2時間帯 (2h)

10:30- 男子マスターズ、

10:35- 女子エリート、女子ジュニア、女子マスターズ

第3時間帯 (2h)

13:00- 男子エリート

13:02- 男子ジュニア

13.3. ステージング

最新ランキングによりステージングを行う。競技者はステージング開始前に指定されたボックスにて待機する。1ボックスは最大30名

オーダー優先は次の通り

1 : UCI ランキング

2 : ナショナルランキング

3 : 下位カテゴリーからの昇格者

4 : その他 (受付順等)

*全日本選手権大会のみ、昨年度優勝者が参加する場合に1番となる。

UCI ランキング発表スケジュール 2015

MTB Ranking	Publication Date
1	3 March
2	31 March
3	14 April
4	12 May
5	26 May
6	2 June
7	9 June
8	16 June
9	30 June
10	7 July
11	28 July
12	4 August
13	11 August
14	18 August
15	25 August
16	8 September
17	27 October
18	31 December

ナショナルランキングは、原則、CJ-U、CJ-1の大会終了後に作成される。

13.4. ユースの競技時間は次の通り

男子 25分～35分

女子 25分

小学生高学年 20分～30分

小学生低学年 10分～20分

*IMBA（国際マウンテンバイク協会）等による推奨競技時間

14. フィールド／テクニカルアシスタンス・ゾーン
ゾーンは、プレミアおよびスタンダードのゾーンに区分される。
プレミアゾーンへは発行されるパスが必要。パスは年間、または大会において担当コミッセルより配布される。

15. ダウンヒル

15.1. 競技形態

次のクラスは、各クオリファイイング・ラウンド（予選）とファイナル（決勝）を行う。

男子ユース	ファイナル進出者10名
男子マスターズ	ファイナル進出者15名
女子エリート（ジュニア含む）	ファイナル進出者10名（最大11名）
男子エリート（ジュニア含む）	ファイナル進出者30名（最大33名）

チャレンジA，Bは1本の走行による。

参加する競技者のうち、最新UCIランキングにおいて男子エリート上位3名、女子1名はファイナルに自動的に参加資格を得る。但しくオリファイイング・ラウンドにおいてスタートしていなければならない。

16. 各大会テクニカルガイド
各大会のテクニカルガイドには、次の情報が含まれる。

- ・実施種目、クラス
- ・スケジュール（レース、トレーニング、マネージャーズ・ミーティング）
- ・コースマップ（距離、高低差、マーシャルポイント、メディカルポイント、F/TAゾーン）
- ・会場マップ（本部、受付、表彰、アンチドーピング、救護、リフト、駐車場、他）
- ・タイミング（使用機器の説明、トランスポンダー、ビーム、フォトフィニッシュ等）
- ・最寄り病院情報（アクセス、連絡先）
- ・主催者情報
- ・適用されるUCIポイントスケール
- ・適用されるUCI財務規程

17. クラス昇格について
次の成績を収めたもので資格を満たしている者は、シーズン途中の特別昇格対象となる。

チャレンジBにおいて
CJ-U及びCJ-1の大会における1位及び2位の競技者（年令別クラス分け無し）
CJ-U及びCJ-1の大会における年令別クラス1位の競技者
チャレンジAへの昇格

チャレンジAにおいて
CJ-U及びCJ-1の大会における1位及び2位の競技者（年令別クラス分け無し）
CJ-U及びCJ-1の大会における年令別クラス1位の競技者
該当する年令クラスへの昇格

年令別クラスとは、次の通り。

エンデュランス系（クロスカンントリー等）
男子エリート+男子U23、男子マスターズ、男子ジュニア、男子ユース
女子エリート+女子ジュニア、女子マスターズ、女子ユース

グラビティ系（ダウンヒル等）
男子エリート（ジュニアを含む）、男子マスターズ、男子ユース
女子エリート（ジュニアを含む）、女子マスターズ、女子ユース

昇格希望者は、大会終了後速やかに、下記アドレスに必要事項を送付し、次回大会より昇格したクラスにて競技を行う。次大会が開催された時点で昇格への権利は消失します。

氏名、チーム名、ライセンス番号、種目 現クラス 昇格希望クラス
mtb@jcf.or.jp

上記の対象となっても、チーム登録が完了していないものは対象とはならない。

18. 年間ランキングによるクラス昇格について
年間ランキングにより、チャレンジ各クラス上位者は上位クラスへの昇格資格が発生する。
また、各UCIクラスの成績によりチャレンジクラスへの降格も行われる。
2016年度の基準値は、全日本選手権大会開催後に発表を予定する。（2015年は、これらUCIクラスへの移行期であるために年度当初に設定することが出来ないため）

以上